

津市監第710号
平成24年10月31日

津市長 前 葉 泰 幸 様

津市監査委員	渡 邊	昇
津市監査委員	駒 田	修 一
津市監査委員	横 山	敦 子
津市監査委員	宇 陀	照 良

平成23年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について
(提出)

地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第2項の規定に基づき審査に付された下記の平成23年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について、別添のとおり提出します。

記

- 1 平成23年度榊原財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 2 平成23年度河内財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 3 平成23年度波瀬財産区会計歳入歳出決算の審査意見

平成 2 3 年度

榊 原 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立方メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・金額、比率において、負数のもの

平成 23 年度榊原財産区会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

審査の対象は、平成 23 年度榊原財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第 2 審査の期間

審査の期間は、平成 24 年 8 月 30 日から同年 10 月 30 日までである。

第 3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 2,919 万 9 千円（表 1 参照）、歳出決算額は 2,717 万 6 千円（表 2 参照）で、歳入歳出差引額は 202 万 2 千円である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、次のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額の主なものは、財産収入 2,123 万 1 千円、繰入金 621 万 1 千円である。

表 1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成23年度				平成22年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	21,189	21,231	72.7	100.2	21,163	71.0	68	0.3
繰入金	6,211	6,211	21.3	100.0	6,688	22.4	△ 477	△ 7.1
繰越金	1,633	1,634	5.6	100.1	1,210	4.1	424	35.0
諸収入	57	123	0.4	215.8	745	2.5	△ 622	△ 83.5
計	29,090	29,199	100.0	100.4	29,805	100.0	△ 606	△ 2.0

(2) 歳出

歳出の内訳は表2のとおりで、決算額の主なものは、財産費1,731万2千円、諸支出金704万3千円である。

表2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成23年度				平成22年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議会費	1,792	1,625	6.0	90.7	2,079	7.4	△454	△21.8
総務費	1,363	1,162	4.3	85.3	5,501	19.5	△4,339	△78.9
財産費	18,258	17,312	63.7	94.8	12,172	43.2	5,140	42.2
積立金	38	35	0.1	92.1	97	0.3	△62	△63.9
諸支出金	7,619	7,043	25.9	92.4	8,324	29.5	△1,281	△15.4
予備費	20	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	29,090	27,176	100.0	93.4	28,172	100.0	△996	△3.5

2 財産に関する調書

財産の平成23年度中の増減高及び平成23年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表3のとおりで、土地の合計面積は山林が79平方メートル減少し、平成23年度末現在高は1,226万4,128平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、平成23年度中に349立方メートル増加し、平成23年度末現在高は3万1,676立方メートルである。

出資による権利については、平成23年度中の増減はなく、平成23年度末現在高は84万円である。

表3 公有財産の状況

区分		単位	平成22年度末現在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高	
土地	公共用財産(その他の施設)	m ²	918	0	918	
	山林	直営	m ²	1,858,244	0	1,858,244
		貸付	m ²	10,405,044	△79	10,404,966
	合計		m ²	12,264,207	△79	12,264,128
立木の推定蓄積量		m ³	31,327	349	31,676	
出資による権利		千円	840	0	840	

(2) 物 品

物品は軽貨物自動車で、表4のとおり平成23年度中に増減はなく、平成23年度末現在高は2台である。

表4 物品の状況 (単位：台)

区 分	平成22年度末現在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高
軽貨物自動車	2	0	2

(3) 基 金

基金は榊原財産区財政調整基金で、表5のとおり平成23年度中に617万6千円減少し、平成23年度末現在高は2,225万7千円である。

表5 基金の状況 (単位：千円)

区 分	平成22年度末現在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高
榊原財産区財政調整基金	28,434	△ 6,176	22,257

3 まとめ

平成23年度における榊原財産区財政調整基金からの繰入れは621万1千円で、同会計の歳入決算額の21.3パーセントを占めている。

一方、当該基金の平成23年度末現在の残高は2,225万7千円となっており、繰入れがこのままの状況で推移すると事業継続のための財政基盤の一つである同基金を失うことが懸念されることから、中長期的視野に立った計画的な財政運営を望むものである。

平成 2 3 年度

河 内 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

平成 23 年度河内財産区会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

審査の対象は、平成 23 年度河内財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第 2 審査の期間

審査の期間は、平成 24 年 8 月 30 日から同年 10 月 30 日までである。

第 3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 43 万 2 千円（表 1 参照）、歳出決算額は 30 万円（表 2 参照）で、歳入歳出差引額は 13 万 3 千円である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額の主なものは、繰入金 27 万円、繰越金 16 万 1 千円である。

表 1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成23年度				平成22年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	7	2	0.5	28.6	3	0.8	△ 1	△ 33.3
繰入金	315	270	62.5	85.7	250	62.7	20	8.0
繰越金	168	161	37.3	95.8	146	36.6	15	10.3
諸収入	10	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	500	432	100.0	86.4	399	100.0	33	8.3

(2) 歳出

歳出の内訳は表2のとおりで、決算額の主なものは、議会費19万7千円、財産費8万6千円である。

表2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成23年度				平成22年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議会費	233	197	65.7	84.5	203	85.3	△6	△3.0
総務費	45	15	5.0	33.3	15	6.3	0	0.0
財産費	178	86	28.7	48.3	17	7.1	69	405.9
基金積立金	7	2	0.7	28.6	3	1.3	△1	△33.3
予備費	37	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	500	300	100.0	60.0	238	100.0	62	26.1

2 財産に関する調書

財産の平成23年度中の増減高及び平成23年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表3のとおりで、土地と建物の面積に増減はなく、平成23年度末現在高は、土地が13万278平方メートル、建物が木造1棟63平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、平成23年度中に76立方メートル増加し、平成23年度末現在高は7,628立方メートルである。

表3 公有財産の状況

区分		単位	平成22年度末現在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高
土地	山林	m ²	130,278	0	130,278
建物	河内公民館	m ²	63	0	63
立木の推定蓄積量		m ³	7,552	76	7,628

(2) 基金

基金は河内財産区財政調整基金で、表4のとおり平成23年度中に26万8千円減少し、平成23年度末現在高は623万3千円である。

表4 基金の状況

(単位:千円)

区分	平成22年度末現在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高
河内財産区財政調整基金	6,501	△268	6,233

3 まとめ

平成 23 年度の歳入は平成 22 年度からの繰越金、河内財産区財政調整基金からの繰入れ及び同基金の利子のみで、同基金からの繰入れが歳入全体の 62.5 パーセントを占めている。

財政調整基金も限りがあることから、今後、持続可能な財政運営ができるよう期待したい。

平成 2 3 年度

波 瀨 財 産 区 会 計
歳入歳出決算審査意見書

津市監査委員

平成 23 年度波瀬財産区会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

審査の対象は、平成 23 年度波瀬財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第 2 審査の期間

審査の期間は、平成 24 年 8 月 30 日から同年 10 月 30 日までである。

第 3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 141 万円（表 1 参照）、歳出決算額は 89 万 5 千円（表 2 参照）で、歳入歳出差引額は 51 万 5 千円である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額の主なものは、繰越金 121 万 9 千円、諸収入 16 万 2 千円である。

表 1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成23年度				平成22年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	30	29	2.1	96.7	6,385	86.5	△ 6,356	△ 99.5
繰入金	0	0	0.0	0.0	900	12.2	△ 900	△ 100.0
繰越金	1,219	1,219	86.5	100.0	95	1.3	1,124	—
諸収入	162	162	11.5	100.0	0	0.0	162	0.0
計	1,411	1,410	100.0	99.9	7,380	100.0	△ 5,970	△ 80.9

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額は、議会費 47 万 1 千円、総務費 42 万 4 千円である。

表 2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成23年度				平成22年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議 会 費	556	471	52.6	84.7	471	7.6	0	0.0
総 務 費	705	424	47.4	60.1	5,027	81.6	△ 4,603	△ 91.6
災 害 復 旧 費	0	0	0.0	0.0	662	10.7	△ 662	△ 100.0
予 備 費	150	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1,411	895	100.0	63.4	6,160	100.0	△ 5,265	△ 85.5

2 財産に関する調書

財産の平成 23 年度中の増減高及び平成 23 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の面積に増減はなく、平成 23 年度末現在高は 100 万 9,635 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、平成 23 年度中に 840 立方メートル増加し、平成 23 年度末現在高は 3 万 9,659 立方メートルである。

出資による権利は、1 万 5 千円増加し、平成 23 年度末現在高は 57 万円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	平成22年度末現在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高	
土 地	宅 地	m ²	1,208	0	1,208	
	雑 種 地 ・ 原 野	m ²	887	0	887	
	山 林	直 営	m ²	1,007,540	△ 716	1,006,824
		貸 付	m ²	0	716	716
	合 計	m ²	1,009,635	0	1,009,635	
立木の推定蓄積量		m ³	38,819	840	39,659	
出資による権利		千円	555	15	570	

(2) 基金

基金は波瀬財産区財政調整基金で、表4のとおり平成23年度中に28万9千円増加し、平成23年度末現在高は1,494万4千円である。

表4 基金の状況

(単位：千円)

区 分	平成22年度末現在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高
波瀬財産区財政調整基金	14,655	289	14,944

3 まとめ

平成23年度は、平成22年度から121万9千円が繰り越されたため、波瀬財産区財政調整基金からの繰入れは必要なかったが、平成24年度からは同基金からの繰入れが不可欠となることから、今後は一層の効率的な財政運営に取り組まれない。